

## 石岡市立小中学校統合再編計画保護者説明会（高浜小） 要旨

日時 令和2年1月22日（水） 午後7時から午後8時20分

場所 石岡市立高浜小学校 体育館

執行部 児島教育長，豊崎部長，吉澤次長，倉本参事，神谷参事兼教育総務課長，関指導室長，細谷副参事，小川課長補佐，海東係長

出席者 32名

### 次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明  
資料
  - ・石岡市立小中学校統合再編計画
  - ・主な自由意見（アンケート）
5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

～～～ 次第に沿って4.統合再編計画に係る説明まで行なう ～～～

（参加者）

まだ、計画の時期であって、再編の時期は確定していないという事での認識でいいんですか。

（事務局）

時期につきましては、確かに今お示ししているのは、計画について年度についての期限は設けておりません。ただし、学習環境の改善については喫緊の課題であると教育委員会としても承知しているところでございます。ただし、統合するにあたっては多くの課題をクリアしていかなければいけませんので、細かい時期等につきましては、今後統合検討委員会で協議をして決めていく事項になると思っております。

（参加者）

当分先になるわけですかね。令和10年とか。5，6年先とかではなくて10年先とかの認識でいいんですか。

（事務局）

教育委員会としては、喫緊の課題をクリアしていくために少しずつ前に進めるため、でき

る限り早い時期には実現したいと思っております。ただクリアしていかなければいけない課題もありますので十分協議をしながら決めていきたいというように考えております。

(参加者)

地域の者です。まず、資料によって生徒数の推移で、学校統合を進めていかなければならないと、今本当に地域とかそういう状況を見て、統合には反対だよという保護者の意見の人が強ければ、これは延期されるなり中止されるなりという事はあるんですか。まず、そこをおうかがいしたい。もう一つは高浜という地域は、常磐線での東京圏への通勤駅なんですね。市の方でもっと住宅を整備したり、都市計画を推進したりすれば、もっと住民を誘致できるというか、そういう地区ではないか。そのような観点からも、小学校もない地域に移り住むという若い人達がいるのかということになってしまう。地域としては何としても高浜近辺に小学校はあるわけですから、このまま残していただきたいと思っているんです。ただ、保護者の方はどのように思っているのか。ここにアンケートの結果が出ています。統合については概ね理解できるというのが47%もあるようになっているんですけども、本当に理解できるというようには思えない。誰に聞いても、今の高浜小学校で運営していくのは一番だと言うわけなんで、そういった点も含めて計画の修正というのがあるのかないのかという事をおうかがいしたい。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。今回審議会に諮問しまして、審議会から答申をいただきまして、その結果をもとに我々も計画を作って説明会に臨んでいるところでございます。

やはり、皆様のご理解をいただきながら、説明を繰り返しながら、お願いしていくような形にはなりますので、ひとまずはこの計画の趣旨をご理解いただいて、皆さんで考えていただきたいなと思っております。ともに考えていきたいというようなスタンスですので、これ全てありきという事で、強制的なイメージではありません。地域の皆さん、保護者の皆さんの合意の中で進めていくような考え方でございます。それから、高浜地区への人口の減少も含めて、今回児童生徒数の減少がなっているわけでございますけれども、やはり市の政策としても、それらを食い止めるような政策というのは全庁的なところで考えていかなければならないと考えております。

(参加者)

計画の方がだいぶ大まかすぎて、皆さん聞くところが少ないとは思うんですけども、その中で統合の優先度というところでAが少なく見ても4つ以上あり、石岡市としても財政としても非常に大規模工事が多い中で、どこを優先してやるというような方向性くらいは決まっているんですか。どこもかしこも手を付け始めると、言い方は悪いが、予算がないというのが、実状だと思います。そこら辺がわかれば教えていただきたいなと思います。この地域を優先でやりますというところであれば、そこから準備をしていかなければならないと思うので、わかる範囲で結構なので、教えていただければと思います。

(事務局)

まず、統合の優先度がAとするものが、計画書にありますように、複式学級の解消という事で、いわゆる施設整備の面という事ではなくて、子どもたちの教育環境の優先度という面の方が強いかなと思います。いわゆる、1つの複式学級、あるいは2つの複式学級があるような学校は、早期に解消していくという意味での優先度Aとしております。小中一貫校はB、あるいは八郷地区の第二段階もBという事になっておりますが、まずは複式学級を解消した後に取り組むという意味でBとしているものでございます。

その中でも優先度Aの中で、施設の改修の面とか関わってくる部分もあるかと思うんですけども、それはこれから説明をしていって地域協議の中で統合の年度が決まれば、それに合わせて先行してやっていく、工事を入れていくような形になっていきますから、地域協議が整い次第、そういったところに予算を配分していくような形になろうかなと思います。

これまでは、八郷中学校と東小学校が建設されていきましたけれども。やはり学校を建設していくにあたっては、10億円以上20億円ないし、体育館を含めれば15億円とか25億円くらいの予算は発生いたします。そこまでいかなくても改修工事をするのであれば、一定の予算は必要になってきますので、地域協議がなされた段階で、工事の方を計画していくような形になろうかなと思います。

(参加者)

なんか順番が反対な気がするんですけども。今の話の中で、何も無いのに認めろというのはなんか違うんじゃないかと思います。建物とかそういう物がしっかりと計画があるから納得するのかなと思います。

(事務局)

もちろん趣旨としましては、第一に考えるのが子どもたちの教育環境の改善というところになりますから、まずはそちらというふうに考えて頂ければというように思います。

現状を見ますと、石岡市の学校は、新築したような学校は違いますけれども、人口急増に合わせてどこも同じような時期に学校建設して、増築しているような現状があります。ピーク時に合わせて建設して同じような年数をたどってきて築40年あるいは50年という校舎もありますから、抱えている改修しなければいけない学校や建物というのは相当数ありますので、そういった面では統合校を中心に先行して工事を行うようになるのかなと思います。

(参加者)

跡地利用に関してですが、仮に統合して廃校という事になった場合、解体する予算を組んでいるのか、それとも、残してそのままほったらかしなのか、誰かが管理していただけるのか。国府中地区の説明にもあったかと思うんですけども、例えば避難所になっているところだけは管理しますという事になるのかどうするのかという事です。

(事務局)

跡地利用については地域の中心に現存しているわけですから、そういったものが無くな

ることで、いろんな面で活動の拠点であるとかが失われていくともございます。ですので、統合再編と併せまして、皆さんからご意見を頂きながら利活用については、声を聴きながら検討していくことになろうかと思えます。他市町村で見ますと、なかなか課題が解決しなくて、校舎が建ったままでそのままになってしまっている現状もありますので、かと言いまして、統合前にこういうふうにしますというのもなかなか難しいところもあると思うんですけれども、廃校になったときには、ある程度地域の方で活用していけるような考え方をいれて模索していきたいなと考えております。

(参加者)

小中一貫校に関してなんですけれども、いろいろメリットがあるから2校に関しては小中一貫校をというような計画なんですけど、地理的予算的な事情もあるかと思えますが、小中一貫校の方がいろいろと教育的メリットがあるのであれば、例えば、東小と南小、石岡中学校を一つの一貫校というように合わせないと不公平が生じるのではないかと思うんですが、そのような計画なんかは今のところはないのでしょうか。

(事務局)

小中一貫校には現在施設一体型や、施設分離型というのがございます。いわゆる小中連携や小小連携をよりさらに活用していくような制度かと思えます。その中で、小中一貫校の統合再編というのは2地区を示しましたけれども、やはりこれにあたっては、石岡市としての小中一貫としての在り方というのを再構築する、考えて定めていく必要はあるかなと思えます。それは、これからまた始めるにあたっては検討してそういったものを定めていきたいなと思っております。そういったものを石岡市として決めるにあたっては、他の地区の中学校に対しても、そういった教育ができるような考え方をもって臨みたいなと思っております。

(参加者)

特にモデルケースにするという意味合いではない？

(事務局)

他の地区の説明会でもありましたけれども、決してその地区だけをモデルケースにすることではなくて、施設は分離しておりますけれども、そういった市としての小中一貫の考え方は定めたいと思っております。

(参加者)

この計画のなかで、南小学校と一緒にするという計画があるかと思うんですけれども、42年を経ている南小学校というのも考えまして、また、大震災の時に、南小学校は地盤が弱くてグラウンドに亀裂が入ったということも私見ていたんですけれども、なんで南小学校という、また、長いスパンで見てもそれがいいってことなんですかね。お金の部分も含めてなんですけれども。

(事務局)

一つには中学校の統合再編も考慮しての事だと思います。石岡中学校と城南中学校を小学校に優先いたしまして統合再編をいたしておりますので、その学区の中での統合再編と

というのが理由の一つでございます。あと一つは城南地区での3校統合の中では、3校統合しても複数クラスが難しいという状況にあるということ。石岡中学校の学区で南小学校は400人規模の学校でございますので、なかなかその部分を別な立地を考えて再建するというのは難しいのかなと考えておりますので、そういった部分も含めて、地理的状況もございませけれども、南小学校と選定したところでございます。

(参加者)

やはり住んでいるところの人数が多ければそっちにまかれるというイメージがあるんですね。私は城南中学校がなくなって、私も城南中学校の卒業生なんですけれども、城南中学校に新しい小学校を創ってみんなが集まればいいかなと思って、南小学校からも線路の関係もありますけれども、あそこをうまく使えば、城南中学校をうまく使えるのかなと思っております。この計画が市でいろいろ考えてこの判断をしたのかもしれないですけども、新しい考え方というのは、とりあえず無しでこの計画で進んでいくという考えでいるという事でよろしいでしょうか。

(事務局)

今後、そのようなご意見に対しては説明していく必要はあるかなと思ってはいますけれども、計画の中では、こういった内容で進めていきたいというふうに考えております。

(参加者)

今日初めてこの小学校の統合の説明会というのは1回目だと思うんですね。保護者にあつたってはやっているのかもしれませんが、私は地区の役員というかそのようなものもやっております、資料が前に出ているというのはわかっていましたけれど、説明会というのは1回目ですね。これで保護者の方に説明しましたという事で終わってしまうわけではないでしょう。もちろん、具体的なものを保護者の方だって一人一人聞きたいと思うんですね。意見を集約しなければこれでOKというようにはならないと思うんです。城南地区公民館で地域向けに、三村や関川も含めて説明会をやるわけですね。地域の人だってこの小学校を使っていたり、あるいは卒業したりして、何としても残してほしいという立場はそう違わないと思うんですね、そういう意味でいくのであれば、このような説明会というのは、もっと何回か開催して具体的なものを示してもらいたい。率直に言うと、統合するなら南台、南小学校の付近は豪雨時に大変な道路状況で、9月の集中豪雨の時なんかは、私は中学生の孫がいますので、呼び出しに応じて車で出かけたのですが、せせらぎパークのところ、上から流れてくる水で川のようになっちゃったんです。あそこの丸太のベンチなんか流れている状況です。私も車に乗っていて、エンジンが止まったら終わりだなと思いながら走って行ったんです。それだけ南台の付近は緊急時の環境があまりよくないというように思うんです。ですから、具体的なものを含めていろいろ出して対策を講じなければ、すぐにはいかないような気がするんです。

(事務局)

ありがとうございます。周知は、段階的に周知はしてきたところなんですけど、地域の方

も含めて初めて見たという方々もいらっしゃると思います。まだまだ説明の方が足りていない部分もありますので、それは今後必要に応じてやっていきたいなと思います。地域の方々へは広報誌や回覧板の方で各世帯に概要版をご案内させていただきまして、説明会を来週開催する予定でございます。もちろん問合せもいくつかございましたので、そちらの方でも地域の意見等も出るかなと思います。ぜひお越しいただければと思います。

(参加者)

南小学校に統合になるかと思いますが、大規模改修になるのか、ただの改修だけで終わるのか、人数によってかなり差があると思うんですけど予定としてどうなのか。

(事務局)

現時点での予定、予算等の裏付けはありませんけれども、現時点での年数からしまして、大規模改修という事で考えているところでございます。やり方はいろんな工法があって、仕上げなんかもいろいろ工法あるかと思いますが、年数からしますと大規模改修という事で考えております。

(参加者)

建替えという事でしょうか。

(事務局)

まず、老朽化が進んでいて使えないという事であれば、解体して改築という事になるかと思うんですけども、大規模改修ですと、ある程度その躯体を残しながらの改修という事になるかと思えます。

(参加者)

建替えは今のところ考えていない。

(事務局)

今ですね、石岡市におきまして、学校施設の長寿命化計画というのを策定しております、これは南小に限らずなんですけれども、現存する施設を大規模改修によって有効利用を図ってさらに延命を図りましょうというような計画でございまして、概ね40年を超したような、40年あるいは30年物も10年経てば40年という事になりますので、そういったものを途中で改修工事を入れて、さらに長く使いましょうというような計画でございまして、今のところ南小に関しましては、年数からしますと大規模改修かなというように思っております。

(参加者)

そうすると、その間、大規模改修中は子供たちは一時プレハブですか。

(事務局)

校舎の状態によって、場合によってはプレハブもあるでしょうし。それから休み期間中を分割して工事を発注する方法もあるでしょうし、その程度によります。最近よく見受けられるのは、プレハブを造ってその間一気にやってしまうような方法もありますし、それは今、大分どこの市町村でもこういうのが進んでおりますので、そういったものも方法としては

いくつかありますので、その辺は検討していくのかなというように思っております。児童生徒さんの負担の事とか、学校の編成一年間のカリキュラムの事とかとの兼ね合いもありますので、工事するにあたってはよく調整をしてやっていきたい。それと説明を保護者の皆様へもやっていきたいという形かなと思います。

(事務局)

保護者の皆様へは昨年の段階でも1月の地区説明会を行う際にも概要版をお示ししまして、受け取って見られた方もありますし、今回通知の中にも同じようなものを載せさせていただいたところです。前回の内容から今回さほど変わらない説明とはなってしまうかもしれませんが、まずは、計画の内容を皆様にお示しさせていただいて、今後、統合検討委員会が設置されれば、そういったものの内容を今度は、広報誌等でお示ししていきたいと考えております。ですので、これから、学校の代表者の方とか地域の方々とお話をさせていただきまして、今年末、あるいは来年度初めに統合検討委員会が設置できればなというように思います。その中で可能であれば、統合の時期などを確定して皆様に「何年度に統合します」というものをお示ししていければなと思っております。なので今の段階では計画の説明という具体的なところが大変申し訳ないところなんですけれども、今後そういったところが、合意がなされれば進んでいくかなというようには思っております。

(参加者)

最後に保護者であり地域の人間としてお願いがあるんですけども、このアンケートの中にも「学区があって学区がないよね」というようなことが書いてあるんですけども、実際問題、市としてまだ検討段階、統合もこうしていかなければならないという事はわかります。ただ、逆に保護者からすると、高浜小が統合して南小になってしまうのであれば、最初から南小に行かせようって思う親が普通だと思います。やはりそういったことも含めて、市としてしっかり検討していった具体的な内容をここで説明すべきだと自分は思います。やはりそれがなかで、言い方はあれですけど、去年も地域の役員として城南地区公民館に行きました。何一つかわっていない。この中身というのが、淡々と5年後10年後やります。大規模改修です。申し訳ないですが、その優先度くらいは決まっているかなと思って聞かせていただいたんですが、それすら決まっていないという。もちろん計画なので、いつからやりますという事が決まってからでは遅いのですけれど、まったくもって高浜小学校・三村小学校・関川小学校、本当に複式学級で統合しなければならないというのも作ってしまっている市の責任もあるのかなと、実際自分の知り合いでも、高浜学区・三村学区・関川学区から南小にもう行かれてる子どももいらっしゃいます。それが一人でも二人でも残っていただければ、もしかしたら状況は変わっていたのかもしれない。本当に申し訳ないのですが、今ここにいる人たちに不安を淡々とあおっているだけしかないのかなと。ちょっと去年そう思って黙って聞いてはいたんですが、今年もまったくもって変わっていない。言い方悪いんですけど、市が行政が統合しますと言う中で、「いや、それはやめてくれ」と一個人の意見で止められるものでもないもちろん思っています。であればこそ、逆に思い切ってではな

いですが、しっかりとやっていただきたいというのが一個人の意見として、最後言わせていただきます。

(事務局)

貴重なご意見ありがとうございます。確かにですね、今おっしゃられたようなことは感じております。自分でやっておりますので、先程のような説明とかもそうですね。確かにおっしゃるとおりでございます。「行政主導で統合ありきである」というような考え方もあるのであれば、そういったところのご批判を頂くことも多々あります。そこは、私どもももどかしいところではあるんですが、保護者の皆様がそういったところでご心配をされているところも、ご意見いただくところで感じていますし、アンケートを取った中でも、そういったものを我々自身が知らなければならないと思ひまして、ご協力いただいたという事も趣旨としてあります。一つ一つ見ますと、アンケートに回答がないというところも自分としてわかっている部分もありますし、今後そういったところは丁寧な説明をしながらご理解いただくように努力していきたいなと思っております。